

事務事業名	真岡市水防協議会運営事業				担当	市民生活部 安全安心課 消防防災係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-83-8396		
施策名	8	消防・防災対策の充実強化			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠	水防法、真岡市水防協議会設置条例					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和55 年度～）		
予算科目	1.一般会計	9.消防費	1	4		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	水防法の規定に基づき、水防計画その他水防に必要な事項を調査審議するために、水防協議会を置き、運営している。真岡市水防協議会条例により、関係行政機関の職員、水防関係団体の代表者、学識経験者の21名以内で組織する。<現在の委員数> 会長（市長）、副会長（副市長）、1号委員=関係行政機関の職員10名、2号委員=水防関係団体の代表者4名、3号委員=学識経験者4名の計20名							

1. 現状把握の部 （1）事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 24年度実績 平成24年度については、国土交通省及び栃木県の計画修正に伴う一部変更、行政組織改編に伴う軽微な変更であったため、会議は開催せず 25年度計画 平成25年度真岡市水防計画の審議				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
				名称	単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
				ア 協議会開催回数	回	1	1	0	0	1
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 水防（水害予防）、協議会委員				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
				ア 委員数	人	18	19	20	20	20
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 水防に必要な事項の調査、水防計画の審議				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
				ア 水防計画の調査審議件数	件	1	1	0	0	0
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 水害予防、発生時の迅速な対応				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
				名称	単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)
				ア 浸水等による被災件数	件	0	0	0	0	0
				イ 自然災害からの安全性が高いと思う市民の割合（市民意向調査）	%	91.5	69.9	71.3	67.9	
				ウ						
				エ						
				オ						
(2) 総事業費の推移				単位	21 年度(実績)	22 年度(実績)	23 年度(実績)	24 年度(実績)	25 年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	0	
			一般財源	千円	77	77	0	64	0	
			事業費計（A）	千円	77	77	0	64	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0	
			延べ業務時間	時間	50	50	4	40	0	
			人件費計（B）	千円	203	213	17	168	0	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	280	290	17	232	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。		水防法による、県知事と協議する真岡市水防計画を事前に協議する機関が必要なため、昭和56年3月27日に設置。								
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは 5 年前と比べてどう変わったのか？		河川整備等が行われ、従来よりは水害発生の危険性は低まった。								
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？										

2. 1 次評価の部 ＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 水害時に迅速な対応可能な安全安心なまちづくりにつながる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 水防法の規定に基づき、水防計画その他水防に必要な事項を調査審議するために設置されている。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 水防に必要な事項を調査審議する。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 条例に基づき適正に運営している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 水防法により、廃止・休止することはできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 統廃合できる類似事業はない。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 水防協議会2号委員（水防関係団体の代表4名）、3号委員（学識経験者4名）の協議会出席の際の委員報酬のみである。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最低限の人件費のみである。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える		(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																						
			削減	維持	増加																				
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																								